

北海道トラック協会ファクシミリ通信

第1189号

セーフティ通信

H28. 12 . 7
(公社)北海道トラック協会
TEL (011) 511-9784
FAX (011) 521-5810

ホームページ <http://www.hta.or.jp/>

運行管理者の皆さんへ！

スリップによる死亡事故防止！

平素から当協会の業務、とりわけ交通安全対策事業の推進に対し、格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。しかしながら、平成28年の事業用貨物自動車の第1当事者の交通死亡事故の発生は、17件20人(昨年同期比+8人)となっております。

過去5カ年、11月～12月は、降雪(降雨)後の数日間にわたり、湿潤と凍結を繰り返し、乾燥路面の中に部分凍結が発生するため、運転者は急な路面状況に対応できずスリップ事故が発生しています。

発生場所は、カーブより平坦な直線道路が多く、正面衝突が約7割を占め、うち普通車と大型車・中型車の事故が約6割を占めております。(過去5カ年スリップによる死亡事故は、71件81人)

スリップ事故の多くは軽傷事故ですが、速度が速い場合は死亡事故になっております。

平坦な直線道路での死亡事故は、39件43人、カーブが26件31人となっております。

スリップ死亡事故の多い発生危険箇所

- ☆ 平坦な直線・橋の上・トンネル出入り口
- ☆ 郊外の樹林による日陰でカーブの一部凍結
- ☆ 郊外の山間部のカーブ全面凍結
- ☆ 普通車の驚愕によるスリップ正面衝突

普通車の運転者は、大型車とすれ違う際、恐怖心(心理的圧迫感)から不用意なブレーキ、ハンドル操作によりスリップし、事故直前の速度が速くなるにつれて、人身損害程度が大きくなり、時速40kmを越えると死亡事故割合が高くなります。

降雪期・凍結期を迎え、全道各地の峠において、スリップ等により上れず渋滞を引き起こす大型車が多くなります。

予め、チェーン等を装着するなどして渋滞防止に配慮させてください。

～ドライブレコーダーの活用～

- ☆ 信号機等がきちんと写るように正しくセットすること。
- ☆ 走行中の携帯電話・スマホの使用は厳禁！
携帯電話等の会話は、ドライブレコーダーに録音されますので運行管理者が確認するなどして運行管理しましょう。
交差点でも電話しながら右左折しているドライバーが散見されます。